

講演①

演題 関東に上陸した令和元年房総台風で5日間の停電を経験

講師 有限会社 高秀牧場

代表取締役 高橋 憲 二 氏



全日畜セミナー
自然災害に強い畜産経営を目指して

関東に上陸した「令和元年房総台風」 で5日間の停電を経験

2021年2月1日
千葉県いすみ市須賀谷
有限会社 高秀牧場 代表 高橋憲二

地域の概要

(有)高秀牧場





牧場の経営概要

経営の規模

乳牛 150頭

飼料畑 15ha

夏作：トウモロコシ

冬作：エンバク・

イタリアンライグラス混播

チーズ工房 H24.4月オープン

ミルク工房 H28.6月オープン



飼料畑と牧草ロール



牛舎入口

労働力の構成

続柄	従事日数	作業担当
本人	300	酪農全般
妻	300	経理、乳牛管理
長女	300	工房経理
従業員 4名	300	酪農全般
従業員	300	乳製品製造
パート 5名	-	ミルク工房
次男	後継者	



水田をフル活用した粗飼料生産 (稲WCS)

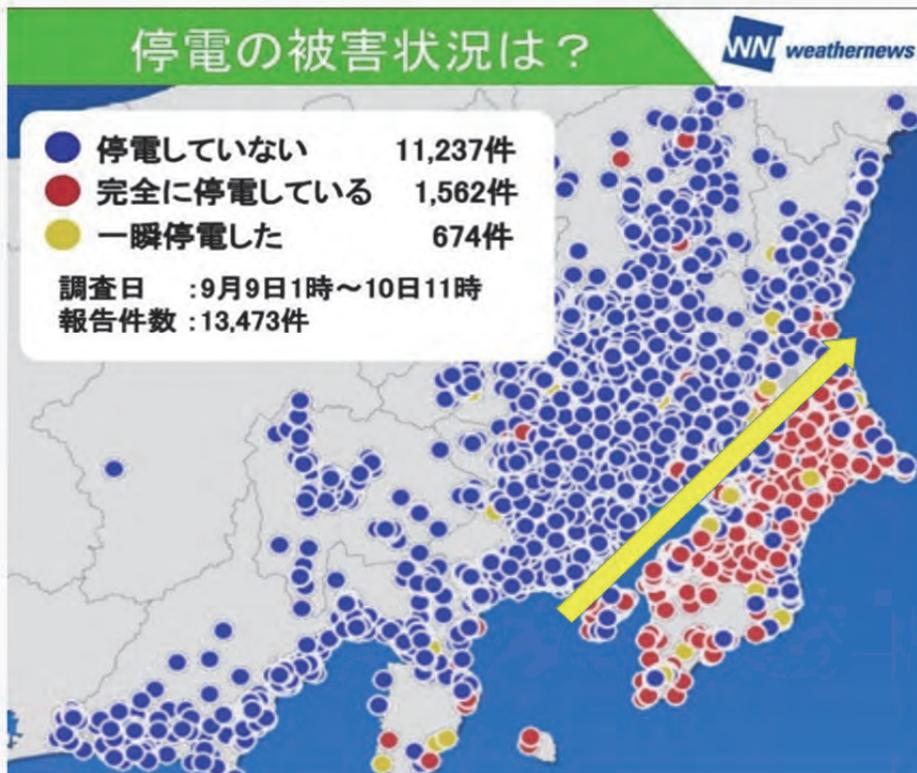
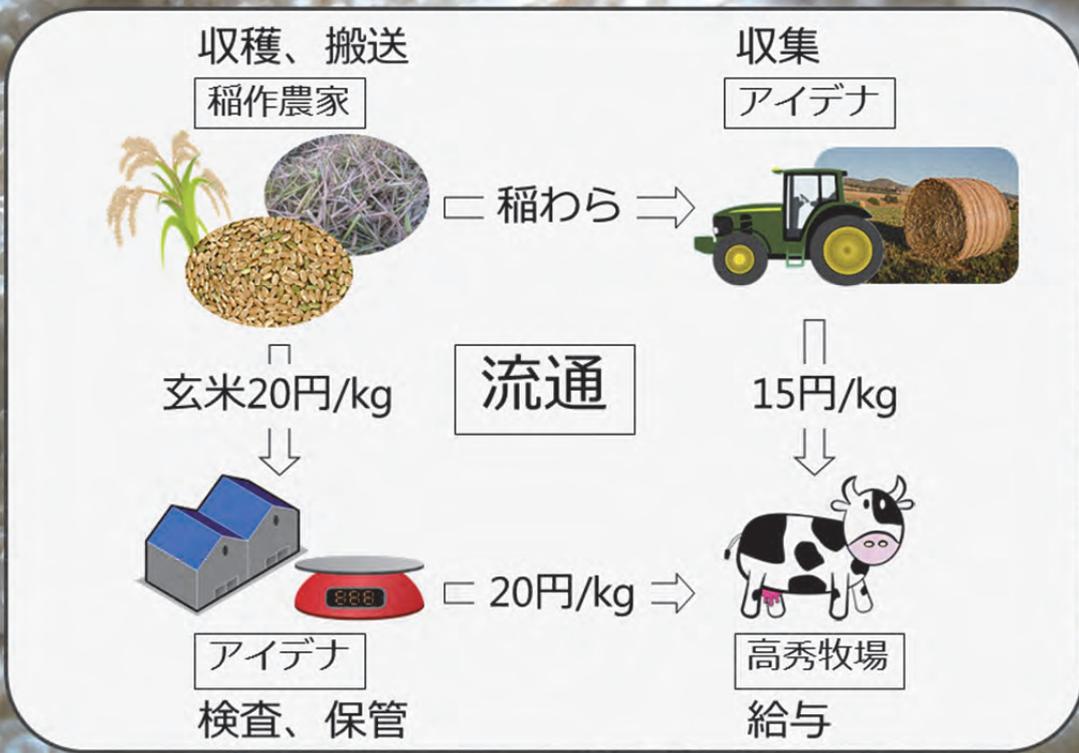
栽培管理
5~7月

収穫
7~8月

調製
7~8月

堆肥散布
8月

地域内で生産される 飼料用米の利用





被害の概要

- ・ 窓ガラス、牛舎、堆肥舎、倉庫の壁、屋根の破損
- ・ 5日間の停電で牛乳の破棄、断水
- ・ 住宅の瓦が飛んで雨漏りが発生
- ・ 物置が全壊し、中の資材が飛散





今回の房総半島台風で学んだこと

- ・ 発電機を設置してあったことにより、牛舎、チーズ・ミルク工房においては、停電中でも電力供給できたことで被害を最小限にできた。
- ・ 普段からの備えが重要である。
- ・ 災害時には助け合いが必要で、地域内での人間関係の構築が必須である。

[NEMO]